

第6 創立100周年記念事業委員会の記録

令和5年5月31日 理事会 第5号議案 決議事項

＜ 創立100周年記念事業委員会の開催経過について （理事会決議） ＞

標記のことについて、あらかじめ評議員会の意見聴取の結果を踏まえ、本議案の審議を出席理事に諮ったところ、審議の結果、全員賛成をもって次のとおりこれを承認し可決した。

概要

- 第1 令和3年6月23日に記念事業準備委員会を立ち上げ、以後3回実施した。
- 第2 令和4年3月18日に100周年記念事業委員会を立ち上げ、以後3回実施した。
- 第3 最新の寄附金募集趣意書・募集要項・寄附申込書

第1 令和3年6月23日に記念事業準備委員会を立ち上げ、以後3回実施した。

第1回 記念事業準備委員会 開催 2021.6.23 (水) 10:00～11:30

出席者：竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、葦水会会長、昇陽会会長 10名

記念事業準備委員会の概要説明

1. 記念事業委員会を立ち上げる
2. 記念事業委員会の構成
 - ・理事長校長、法人事務局（中島、山中）・学校（安田、桑原、鶴巻）
 - ・関係団体（保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長）
 - ・庶務係（吉田、川辺、山中）
3. 専門委員会の構成
 - 記念事業委員会が専門委員を指名する
4. 記念事業委員会を設置する
 - (1) 記念事業委員会の規約と組織図
 - (2) 事業方針とその予算案をつくる
 - (3) 全体の行程表をつくる
5. その他
 - この機会に、同窓会活動の活性化のため卒業生名簿・住所管理を見直す（管理委託）

第2回 記念事業準備委員会 開催 2021.7.15 (木) 10:00～11:30

出席者：竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、葦水会会長、昇陽会会長 10名

配布説明資料の概要

1. 淀之水学院 昇陽中学校・高等学校 創立100周年記念事業委員会 規約 (案)
2. 役員・委員会組織図
3. 100周年記念 ロゴマーク
4. 100周年記念 テーマ
5. 予算書案
6. 奨学金基金積立の充実拡大 (案)
7. 予算の見通し
8. 周年記念式典実施日
9. 葦水会の決算状況
10. 保護者会の決算状況
11. 生徒会の決算状況
12. これまでの記念誌の概略
13. 昇陽会の起源と歩み
14. 法人の概要
15. 100年の沿革 (1924年3月27日～)
16. 創立70周年記念式典 日程表
17. 今後の日程表

意見交換の概要

- ① 現在の校旗は6期生の寄贈品で、相当老朽化しているため、新調しよう。8.5万円。
- ② 旧校歌を新しいCD化しよう。
- ③ マスコットキャラクターの大募集を行う。
- ④ 役員・委員会組織図の各専門委員会のメンバーを順次構成していく。
- ⑤ 100周年記念ロゴマークを早急に決定する。

第3回 記念事業準備委員会 開催 2021.9.9 (木) 10:00~11:30

出席者 : 竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長
11名

1. 100周年記念事業委員会の役員の確定

保護者会の会長が就任されたので、100周年記念事業委員会の役員組織がほぼ確定。

委員長 : 竹下健治理事長・校長

副委員長 : 法人事務局長、教頭、保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長

委員数名 : 桑原先生

書記 : 山中・吉田

会計 : 鶴巻・福井・川辺

監査 : 干貝・喜多

各専門委員長 : 5名

今後、5つの専門委員会のメンバーを順次確定する。

専門委員長の指名で、委員長から委嘱状を発する。

2. 今後の当面の進め方

100周年記念事業委員会の立ち上げ

(1) 事業計画案及び予算計画案を絞り込む

(2) 役員会で確定したら、各団体への広報と承認を求める

(3) 各専門委員会の進行状況を役員会で順次確認する

第2 令和4年3月18日に100周年記念事業委員会を立ち上げ、以後3回実施した。

第1回 100周年記念事業委員会 開催 2022.3.18 (金) 10:00~ 11:30

出席者 : 竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長、
保護者会会長 12名

議事録

1. 記念準備委員会組織から正式な「100周年記念事業委員会」組織に移行。

(式典予定日 令和6年10月23日(水)の前後)

2. 専門委員会の状況報告

・ 記念誌編纂委員会委員への委嘱状10名発送する。

・ 記念誌の構成・見積書を法人事務局で具体的に進めること。

・ 式典・祝賀会の会場選定を法人事務局で具体的に進めること。

・ 生徒会からの報告3件を承認(マスコットキャラクター実施要項・投票結果、活動計画書)

・ 生徒会は、本委員会予算とは別に生徒会予算の中で100周年の事業を行うが、その内容は本委員会の承認が必要。

3. 100周年記念事業「教育施設整備充実寄附金」の企画中です。

学校法人淀之水学院 創立100周年記念事業寄附金 募集要項 (案)

寄付募集金額は、個人:一口5,000円以上、法人:一口50,000円以上とする。

4. 保護者会会長から、事業業積立金残高が3,100万円あるので、事業内容によっては2,000万円でも支出は考えられると提案された。

第2回 100周年記念事業委員会 開催 令和4年7月25日(月) 10:00~12:00

出席者 : 竹下、干貝、中島、山中、吉川、桑原、中野、鶴巻、吉田、保護者会会長、
葦水会会長、(株)サト松本 12名

1. 干貝孝三郎氏を委員に選出し委嘱した。

2. 第1回2022.3.18からの経過報告

・ 令和4年4月18日(月) グランキューブ大阪(大阪国際会議場)リーガロイヤルホテル 見学
吉川・桑原・中島・山中・鶴巻の5名

・ 令和4年4月20日(水) 記念誌編纂委員会 開催 以後、5/12, 6/30に開催。

・ 令和4年5月11日(水) 保護者会総会にて説明。

創立100周年記念事業委員会規約、寄附金募集趣意書、寄附金募集要項

・ 令和4年5月31日(火) 理事会・評議員会決議。

創立100周年記念事業委員会の立上げについて報告決議

・ 令和4年6月3日(水) 「ようこそ 葦水会へ」 同窓会ホームページ掲載。

・ 令和4年7月1日(金) 「ようこそ 近年の葦水会報へ」 同窓会ホームページ掲載。

3. 寄附金募集要項の見直し提案

・ 「寄附金の目標額」・・・個人様一口5000円以上、法人様50,000円以上に、「なお、上記を目安としますが、いくらでもお受けします。」を追加する。

↓ 改正

「寄附金の目標額」・・・個人様一口1万円以上、法人様10万円以上、なお、上記を目安としますがいくらでもお受けします、上限は設けません。」に修正する。

「寄附金の募集期間」・・・1万円以上の寄附者に特別措置を行う。

なお、令和6年10月の記念式典日までにおける特別措置は、次のとおりです。

- 1 万円以上のご寄附の場合は、ご希望により記念式典へのご招待券をお渡しします。
 3 万円以上のご寄附の場合は、加えてご希望により記念祝賀会へのご招待券をお渡しします。
 大きな会場を用意しますが先着順で会場定員の範囲内とします。
4. 「寄附金振込方法」・・・(コンビニや) 郵便局・ゆうちょ銀行への振り込み提案
 (コンビニや)郵便局・ゆうちょ銀行ATMへの払込取扱票の場合の手数料は不要です。
5. 葦水会報に、卒業生等の広告掲載を募集し、実施する。
 6. 寄附金募集においても、広告掲載を募集する。
 7. 企業法人・大学へ寄附金広報を行う上で、資料を収集する。
 8. 予算書の見直し案の検討
 9. 各報告

第3回 100周年記念事業委員会 開催 令和5年4月19日(水) 15:00~16:05

出席者 : 竹下、中島、山中、吉川、桑原、鶴巻、吉田、川辺、河村保護者会会長、
 葦水会会長欠席、宮田昇陽会会長、木村大輔記念誌編集委員会委員長、 11名

議事録

1. 記念誌編集委員会の中野淳子先生が転出のため、木村大輔先生が就任する。
2. 令和4年10月15日保護者会総会書面表決にて「100周年に向けた事業計画提案書寄付金」が決議されたことによる、その収支報告書の説明。(別添1, 別添2)
3. 記念事業寄附金募集について
 企業法人・大学へ寄附金広報を行う上で、資料を収集する。
 工程表を作る。 スタートする。
4. 100周年記念事業予算書(案)について (別添3)

(別添1)

保護者会からの 100周年に向けた事業計画提案書
 [令和4年10月15日保護者会総会書面表決で寄付金決議]

1. 事業支援の原資

事業支援の原資は、総会で決議された令和4年度予算書の特別会計を活用する。
 令和4年度予算書の特別会計の残高 約4,347万円 のうち当初予算の段階では支出内容が定まっていなかったため、今回その項目を定め、補正予算として2,700万円を本年度支出額とし、100周年に向けた記念事業費として学院に寄付し、執行します。

令和4年度 補正予算書		第2 特別会計		(単位: 円)
項目	2 事業引当積立金	5 積立金	合計	備 考
1 前年度繰越金	27,419,002	13,052,665	40,471,667	
2 本年度受入額	2,000,000	1,000,000	3,000,000	
3 本年度利息収入	998	335	1,333	
収入合計	29,420,000	14,053,000	43,473,000	
1 本年度支出額	17,000,000	10,000,000	27,000,000	100周年に向けた支出
支出合計	17,000,000	10,000,000	27,000,000	
差引残高	12,420,000	4,053,000	16,473,000	

* 事業引当積立金は記念事業等の積立として100万~200万円、積立金はクラブ等臨時行事等の積立として50~100万円をおよそ20年近く前から積み立て、その間の支出は0円です。

2. 事業支援の方針

(1) 教育施設設備の整備支援の手順

100周年支援対象とする施設設備の整備に関しては、数年前より保護者会にて十分に検討を重ね、項目を絞り込んできました。

その結果、整備支援基本方針は、次の2つを満たすこととします。

方針1 : 保護者会が、周年事業にふさわしいもののうち日頃から学校の手の届きにくい施設設備の整備にも着眼する

方針2 : 着眼した項目を保護者会の意見として提案し、加えて学校の先生方の意見提案もいただき総合的な内容とする

(2) 会計経理の手順

整備支援の手順を踏まえ、物品購入等の執行手続きは、保護者会から寄付申出書により学院に資金を寄付し、学院が学校法人会計基準に基づき、適正に会計処理を行い、その結果を寄付者の保護者会に報告する。

3. 事業支援の提案項目

- (1) 学校法人淀之水学院 創立100周年記念事業寄附金募集趣意書・募集要項 の概要は、
 - ① 目的・使途は、令和6年の創立100周年記念事業として、体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修などの施設充実を図ると共に、昇陽中学校・高等学校における今後10年の「中長期計画ビジョン」の実現に向けて、教育研究活動の一層の振興・充実を図るため、その経費として活用する。です。
 - ② 募集目標額は、5,000万円 です。
 - ③ 募集期間は、令和8年12月31日までの5年間 です。
- (2) 寄附金募集趣意書・要項の実施に先駆けて、緊急性の高い関連する項目から事前に実施する。
 具体的には、100周年事業にふさわしいもののうち、保護者会がこれまで十分に検討してきた項目を中心として、日頃から学校の手の届きにくい施設設備の整備にも着眼し、加えて学校の先生方の意見提案もいただき、総合的な内容となる項目として、次のとおり提案いたします。

第1 100周年記念式典に出演予定の吹奏楽演奏の経年劣化している楽器の更新 (約260万円)

ホルン4台、トロンボーン2台、他パーツ

第2 昭和59年に建設され39年目を迎えている体育館棟の設備更新 (約730万円)

- (1) 1階の食堂の経年劣化している空調設備を更新する。 約300万円
- (2) 2階の体育館フロアの経年劣化している照明器具をLED照明80台に更新する。約430万円

第3 平成11年に建設され24年目を迎えている新南館の設備更新 (約820万円)

- (1) 平成11年新南館を建設し、現在は大阪府内で本校と府立1校のみの貴重な福祉科が設置され24年目を迎えている。
 福祉コースの経年劣化しているベッド・車椅子・畳等を更新する。
 ベッド9台、車椅子8台他、畳表替え 約320万円
- (2) 新たに一部屋増設された昇陽塾（自習用ブースを設置し、監督教員のもとで午後7時までの自習や長時間の塾講義の場）で使用する学習機を購入する。
 学習機 25台 約200万円
- (3) 作法室の畳の更新
 経年劣化している畳を更新する。 約50万円
- (4) 新北館から移転してきた中学普通教室に、高校普通教室と同様にプロジェクター及びスライドレールを設置する。
 約250万円

第4 平成20年6月購入の城山キャンパスグラウンドにトイレを設置 (約530万円)

平成20年6月に元府立城山高校跡地の城山キャンパスグラウンド(9,255㎡)を大阪府より購入し、15年目を迎えている。
 令和2年1月末に人工芝設置工事が完成し、令和2年に高校進学Ⅲコースが設置され、生徒100人が火・木曜日の5～6時間目体育授業としてグラウンドを使用しているが、山間地域のため、グラウンド屋外レンタル仮設トイレが冬場は凍結し、給水使用不可の状態となっている。屋内にトイレを設置すれば給水使用可能のため、グラウンド入口の管理・更衣室内にトイレを設置する。

第5 令和2年12月に耐震工事が完了した西館のパティシェコース備品の更新 (約90万円)

平成18年にパティシェコースが設置され、17年目を迎えています。
 専門学校と同等の実習施設を完備し、実習ではプロ仕様のオープン、製菓専用の実習台などハイレベルな設備を使って思う存分、製菓製作ができるとして貴重なコースです。
 実習教室備品の経年劣化している 急速凍結庫 を更新する。

第6 その他の周年事業にふさわしい項目 (約270万円)

- (1) 現在の校旗は6期生の寄贈品で、相当老朽化しているため新調し、今年度の卒業式に間に合わせる。 約90万円
- (2) さらに学校と協議して対応できるように予備費を計上します。 約180万円
 なお、残額が出た場合は、次年度に繰り越します。
 執行の手続きは、これが保護者会の総会決議の後、事業計画提案書に基づき、寄付申出書により学院に2,700万円の資金を寄付し、学院は学校法人会計基準に基づき、適正に会計処理を行い、その結果を寄付者の保護者会に報告する。

以上

(別添2)

100周年に向けた記念事業費寄付金 収支報告書

[令和4年10月15日保護者会総会書面表決で寄付金決議]

項目		収入額(円)		
寄付金等の資金	保護者会からの寄付金	27,000,000		1
	LED 補助金の収入額	2,492,000		2
	学校資金	348,370		3
収入合計		29,840,370		

項目		支出額 (円)		
		備品費	施設費	
昭和59年に建設され39年目を迎えている体育館棟の設備更新	食堂空調設備改修		2,992,000	1
	体育館天井照明 LED 化		3,850,000	2
	食堂厨房器具更新	907,720		3
平成11年に建設され24年目を迎えている新南館の設備更新	介護特殊ベッド9台、車椅子8台、サイドキャビネット8台、畳更新	3,070,515		4
	昇陽塾学習机 25 台	1,925,000		5
	作法室畳更新	643,610		6
	中学教室プロジェクターほか	2,530,000		7
	新南館空調設備改修費の一部支援 (5382万円7年分割払いの内の1年分)		7,689,000	8
令和2年12月に耐震工事が完了した西館のパーティシエコース備品の更新	冷凍冷蔵庫	418,000		9
	急速凍結庫	495,000		10
100周年記念式典に出演予定の吹奏楽楽器の更新	ホルン4台、トロンボーン2台ほか 楽器一式	2,550,000		11
6期生の寄贈品校旗の新調	校旗	679,525		12
運動場投光器の劣化更新	運動場投光器 LED 化		2,090,000	13
支出合計		13,219,370	16,621,000	
		29,840,370		

(別添3)

100周年記念事業 予算書

2023.4.19

(単位: 円)

収入の部			
	科 目	収 入 額	摘 要
1	祝賀会祝金	3,000,000	祝 金 @ 10,000 円 × 300 人
2	学院負担金	7,000,000	
3	葦水会協賛金	5,000,000	一般積立金残高 11,000,000 円
4	保護者会協賛金	10,000,000	事業引当積立金残高 12,000,000 円
5	生徒参加費	4,500,000	参加費 @ 5,000 円 × 900 人
6	募金収入	4,000,000	寄付金 @ 10,000 円 × 400 人
6	募金収入	1,500,000	寄付金 @ 30,000 円 × 50 人
6	募金収入	2,000,000	寄付金 @ 100,000 円 × 20 人
7	保護者会寄付金	27,000,000	令和4年度 保護者会からの100周年に向けた記念事業費
	合計	64,000,000	
支出の部			
	科 目	支 出 額	摘 要
1	祝賀会費	3,700,000	@10,000 円 × (300 人+70 人)

2	記念誌発行費	3,300,000	記念誌費 @2,200 × 1,500 部 = 3,300,000 円
2	記念誌発行費	2,200,000	記念誌費 @2,200 × 1,000 部 = 2,200,000 円 生徒分
3	記念品費 来賓	900,000	来賓記念品費 @ 3,000 × 300 人
4	記念品費 生徒	1,000,000	生徒記念品費 @ 1,000 × 1000 人
5	記念品費 職員	300,000	職員記念品費 @ 3,000 × 100 人
6	功労者表彰費	400,000	@20,000 円 × 20 人
7	記念事業費	20,000,000	食堂・体育館トイレ等改修費の一部
8	案内通信費	1,200,000	案内札状印刷代・記念誌送料ほか
9	総務費	4,000,000	会場費ほか
10	事前施設整備費	27,000,000	令和4年度 保護者会からの100周年に向けた記念事業費13事業
	合計	64,000,000	

第3 最新の寄附金募集趣意書・募集要項・寄附申込書

学校法人淀之水学院 創立100周年 記念事業 寄附金 募集趣意書

本学院は、大正13年（1924年）3月27日、淀之水女学校として大阪府西成郡豊崎町北長柄（現大阪市北区）に創立者吉川竹三郎氏が開学し、翌1925年には此花区西島町（現・西島）に移転しました。

昭和19年（1944年）5月には財団法人淀之水高等女学校設立登記し木村幸次郎理事長が就任しました。

昭和24年（1949年）4月には現在地（大阪市此花区朝日）に校舎を建てて移転し、73年が経過します。

近年においては、平成11年（1999年）4月に福祉科（現在大阪府内で本校と府立1校のみ）を設置し、平成21年4月には中学校を併設し、平成22年（2009年）からは女子高から男女共学校となり学校名を現在の「昇陽中学校・高等学校」として新たな道を歩んでいます。

建学の精神である「奉仕のこころ」、また教育方針である「For Others」の精神で世界の人々のために生き、人々から求められ貢献できる人材の育成を目指してきました。

たとえて言うならば、「一隅を照らす人」を育成する。どんな環境であっても、人々と共にあり、人々を照らす存在になってほしい、そのような新しいリーダーの育成です。

有名大学への進学実績や部活動も盛んで全国大会で好成績を誇り、主な出身者としては作家の田辺聖子さん、リオ・東京・オリンピックに出場した卓球の伊藤美誠選手ほか多数います。これまで、24,278人の高校卒業生を輩出し、現在は、在籍生徒数約1000名のスケールで、この少子化にあって近年は入学生の増加を果たし、大阪の歴史のある公教育の一翼を担っています。

これまでおよそ100年にわたり大阪の地で実学を中心に教育を実践し、令和6年（2024年）に創立100周年を迎えます。

創立100周年を迎えるにあたり、学院では、10年後（前期5年・後期5年）のあるべき姿「中長期計画ビジョン SHOYO NEXT 10 YEARS」を策定し、令和4年度からスタートさせ、未来に向けて、「人々のために生きる・求められ貢献できる人材づくり」を行って参ります。

中長期計画ビジョンでの昇陽中学校・高等学校は、3つのフィールド（進学フィールド、文武両道フィールド、キャリアフィールド）が重なり、8つのコース（特進コース、進学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコース、看護医療系進学コース、ITフロンティアコース、ビジネス/公務員チャレンジコース、パティシエコース、保育教育コース、福祉コース）の特色ある教育課程、体験学習、実習体験や学校行事や文武両道の各部活動などで「見えない学力（教養、論理力、発信力など）」やレジリエンス（やり抜く力）を育成し、面倒見がよく徹底して生徒育成にこだわる学校を目指します。

この大きなビジョン遂行のため、創立100周年記念事業として体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修など生徒にとって学びやすい学習環境とするために新たな施設・整備を実現したいと考えています。

教育環境の整備を図り、生徒たちが安心して勉強やクラブ活動に励める環境をつくりの充実を進めてまいります。

何卒、この100周年記念事業の完遂のため、皆様方の絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。教職員が一丸となって生徒たちを支えていく所存でございます。

ご卒業生及び学院関係者の皆様方におかれましては、このたびの趣旨にご理解とご賛同いただき、学院発展のため誠に恐縮ながらご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

学校法人淀之水学院 創立100周年 記念事業 寄附金 募集要項

1. 寄附金の名称・目的・使途

名 称 : 学校法人淀之水学院 創立100周年 記念事業寄附金

目的・使途 : 令和6年の創立100周年記念事業として体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修などの施設充実を図ると共に、昇陽中学

校・高等学校における今後10年の「中長期計画ビジョン」の実現に向けて、教育研究活動の一層の振興・充実を図るため、その経費として活用する。

2. 寄附金の募集目標額・募集の区域・対象

募集目標額 5,000万円

個人様：一口 1万円以上、法人様：10万円以上、

なお、上記を目安としますがいくらでもお受けします、上限は設けません。

募集区域 本学院の教育に賛同する全国の個人・企業法人の皆様

募集対象 教職員はもとより、卒業生の皆様、在校生保護者の皆様、

本学院の教育に賛同する全国の個人・企業法人の皆様

3. 寄附金の募集期間

令和4年1月1日から令和8年12月31日まで 5年間

なお、令和6年10月の記念式典日までにおける特別措置は、次のとおりです。

1万円以上のご寄附の場合は、ご希望により記念式典へのご招待券をお渡します。

3万円以上のご寄附の場合は、加えてご希望により記念祝賀会へのご招待券をお渡します。

大きな会場を用意しますが先着順で会場定員の範囲内とします。

4. 寄附の申込先（寄附申込書）

寄附申込書に必要事項をご記入いただき、学院事務室宛に送付をお願いいたします。

申し込みされた方に、寄附金入金先をご案内いたしますので、指定の金融機関の口座に寄附金をご入金ください。窓口を持参される方は、直接、学院事務室までご持参ください。

〒554-0011 大阪市此花区朝日一丁目1番9号

学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校 事務室寄附金担当

電話 06-6461-0091 FAX 06-6465-0336

5. 寄附金振込方法

下記口座にお振込み下さい。

郵便局でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院（ガク）ヨドノミズガクイン）

口座番号 00980-6-326505

同封の払込取扱票にて振込みの場合は手数料はかかりません。

銀行でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院（ガッコウハウジン ヨドノミズガクイン）

口座番号 三菱東京UFJ銀行 四貫島支店 普通預金 0162775

（参考）エフレジ収納決済契約を締結した場合の例

5年間、一人当たり5千円を卒業生600人から寄附を受けた場合の例

エフレジ収納決済契約				手数料①	寄付金額（@5千円×600人）			手数料②
項目			@	5年間の管理費（A）	寄付金@	寄付人数	寄付金額（円）	手数料（円）（B）
イニシャル	寄付扱い	1回	50,000	55,000				
	決済システム	1回	30,000	33,000				
ランニング	寄付扱い	5年間	120,000	132,000				
	決済手数料	クレジットカード決済	3%		5000円	200人	1,000,000	33,000
		コンビニ決済	3万未満@300		5000円	200人	1,000,000	66,000
		コンビニ決済	5万未満@600					
		PAY-EASY 決裁	3万未満@300		5000円	200人	1,000,000	66,000
		PAY-EASY 決裁	3万以上@600					
	システム利用料		1件@50					33,000
領収書送付		1件@84					50,400	
	合計			220,000	@5千円×600人	3,000,000	248,400	

税込み

税込み

寄付金額（円）	5年間の管理費（A）	手数料（B）	差引収入額	収入率
3,000,000	220,000	248,400	2,531,600	84.39%
	468,400			
@5千円×600人	@5千円×94人			

令和 年 月 日

学校法人 淀之水学院 理事長 様

寄附申込書（個人・法人）

下記のとおり、学校法人淀之水学院 創立 100 周年 記念事業寄附金としてご寄附申し上げます。

寄附申込者様	フリガナ	
	ご芳名	印
	お電話番号	自宅（ ） — 携帯（ ） —
	ご住所	〒 —
	学院とのご関係	卒業生（ ）期生・（ ）年度卒 卒業生親族（ ）期生・（ ）年度卒 在校生保護者（ ）年組 教職員（以前・現在） 役員・評議員（以前・現在） 保護者会関係（以前・現在） 葦水会役員関係（以前・現在） 昇陽会関係（以前・現在） お取引先 その他（ ）

寄 附 金 額	金 円 ＊ 1万円以上のご寄附の場合は、ご希望により記念式典へのご招待券をお渡します。 ⇒ 希望する 希望しない ＊ 3万円以上のご寄附の場合は、加えてご希望により記念祝賀会へのご招待券をお渡しします。 ⇒ 希望する 希望しない
送 金 方 法	☐ 学院の窓口で現金を持参 ☐ 学院の金融機関 郵便局に振込み ☐ 学院の金融機関 三菱東京ＵＦＪ銀行に振込み
送 金 予 定 日	令和 年 月 日

1. 本申込書は、学院事務室までご郵送ください。
〒554-0011 大阪市此花区朝日一丁目1番9号
学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校 事務室寄附金担当
電話 06-6461-0091 F A X 06-6465-0336
2. 送金方法で学院の金融機関への振込みを選択された場合は、次の口座にご入金ください。
郵便局でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院 (ガク) ヨドノミズガクイン
口座番号 00980 - 6 - 326505
同封の払込取扱票にて振込みの場合は手数料はかかりません。
銀 行でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院 (ガッコウホウジン ヨドノミズガクイン)
口座番号 三菱東京UFJ銀行 四貫島支店 普通預金 0162775